

【港北区】令和2年第2回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

日時	令和2年6月9日（火）【書面開催】
議 題	令和2年度個性ある区づくり推進費の執行状況について
発 言 の 要 旨	<p>白井議員：</p> <p>1 防災スピーカーの整備 新型コロナの影響で住民が集まったの防災研修ができにくい状況だからこそ、洪水時の避難行動につなげるため、より情報伝達方法を増やす必要があります。鶴見川・早渕川流域の都筑区内ではサイレン音・音声・回転灯で知らせる防災スピーカーの整備が市の事業として進んでおり、港北区も優先的な整備が求められます。区での検討状況はどうなっていますか。</p> <p>(港北区役所)： 防災スピーカーは、令和元年度に2か所（日吉南小学校、北綱島小学校）整備し、今年度は5か所（港北区役所、綱島小学校、新田中学校、大曾根小学校及び下田小学校）に整備する予定です。</p> <p>2 洪水時の避難場所 洪水時の避難場所は、多くの人を受け入れるキャパに余裕がないうえに、新型コロナなどの感染予防の観点も加えたものにするため、あり方を見直す必要があります。行政が開設する避難場所に加えて、市として津波避難場所を民間ビル所有者と協定を結んで確保しているように、民間ビルの協力を得ることなど必要と思いますが、区での検討状況はどうなっていますか。</p> <p>(港北区役所)： 新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、避難場所に関わらず、安全な場所にある親戚や知人の家等に避難することを啓発します。また、洪水時の避難場所として、区内の地域ケアプラザ等の活用を検討しています。</p> <p>3 避難所の環境改善備品 地域防災拠点へのエアーマット・段ボールベッドなどの備品の整備計画が、今年度で完了するというので、引き続き環境改善備品の整備が必要です。また、洪水時に行政が開設する避難場所での備品も必要とされていますが、区での検討状況はどうなっていますか。</p> <p>(港北区役所)： 新型コロナウイルス感染症予防に資するよう、間仕切りなどの環境改善備品の整備検討を進めています。</p>

	<p>豊田議員：</p> <p>1 コロナウイルスなど感染症対策を含め、新しい取組を進めていただきたい。例えば、ダンボールベッドなどは用途を明確にし活用することを検討してもらいたい。</p> <p>(港北区役所)：</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を含め、必要な取組を進めます。避難場所の運営が円滑にはかれるよう、用途に応じた物品を購入し、その活用を図ります。</p> <p>2 子供たちを含め、区民のコミュニティの場が失われたので、新たな機会を設けるなどしてコミュニティが醸成され、補われるよう区の予算活用を考えてほしい。</p> <p>(港北区役所)：</p> <p>区民の皆様や議員の皆様のご意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、SNSの活用等、区民の皆様がコミュニティの醸成を図る場づくりに取組みます。</p> <p>3 オリンピックやパラリンピックが延期されたが、引き続き、区役所として警備など区民が安心安全に生活できるよう、予算確保の上、取り組んでほしい。</p> <p>(港北区役所)：</p> <p>引き続き区民の皆様の安心安全の確保に向けて、必要な区づくり推進費予算の確保に努めます。</p>
<p>備 考</p>	<p>基準日までいただいた御意見・御質問等について、港北区役所として御回答させていただきました。</p>